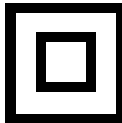


Hitachi Koki

POWER TOOLS for PROFESSIONAL

取扱説明書

二重絶縁

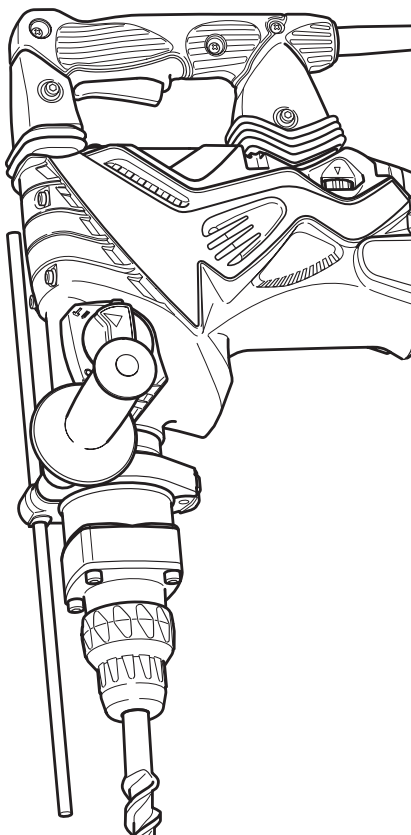


用途

- コンクリートの穴あけ
- アンカ下穴の穴あけ
- コンクリートのハツリ、破碎、溝掘り、角出し、切断、はがし

日立ハンマドリル

40 mm **DH 40MRY** [SDSmaxシャングタイプ]



このたびは日立ハンマドリルをお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



電動工具の安全上のご注意	1
二重絶縁について	4
ハンマドリルの使用上のご注意	4
各部の名称	6
標準付属品	6
仕様	6
別売部品	7
ご使用前の点検	9

はじめに

工具の取付け・取りはずし	10
作業モードの設定	11
回転数・打撃数の調整	12
スリップクラッチ機構について	12
穴をあける	13
ハツリ・破碎する	14

使い方

ドリルチャックの使い方	15
テーパシャングアダプタの使い方	15
コアビットの使い方	16

使いこなし

保守・点検	17
ご修理のときは	裏表紙

その他

HITACHI

警告、 注意、 注 の意味について

ご使用上の注意事項は「 警告」、「 注意」、「 注」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

 **警告** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 **注意** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

 **注** : 製品の据付け、操作、メンテナンスに関する重要なお注意。

電動工具の安全上のご注意

- ・火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- ・お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

警告

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
 - ・ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **作業場の周囲状況も考慮してください。**
 - ・電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
 - ・作業場は十分に明るくしてください。
 - ・可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
- ③ **感電に注意してください。**
 - ・電動工具を使用中、身体を、アース（接地）されているものに接触させないようにしてください。
(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
- ④ **子供を近づけないでください。**
 - ・作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - ・作業者以外、作業場へ近づけないでください。
- ⑤ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
 - ・乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。

⚠ 警告

- ⑥ 無理して使用しないでください。
- 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
- ⑦ 作業に合った電動工具を使用してください。
- 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。
- ⑧ きちんとした服装で作業してください。
- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
 - 屋外で作業する場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。
- ⑨ 保護メガネを使用してください。
- 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
- ⑩ 防音保護具を着用してください。
- 騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。
- ⑪ コードを乱暴に扱わないでください。
- コードを持って電動工具を運んだり、コードを引張ってコンセントから抜かないでください。
 - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- ⑫ 加工する物をしっかりと固定してください。
- 加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
- ⑬ 無理な姿勢で作業をしないでください。
- 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
- ⑭ 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - コードは定期的に点検し、損傷している場合は、修理をお買い求めの販売店、または日立工機電動工具センターに依頼してください。
 - 延長（継ぎ）コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。
- ⑮ 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 使用しない、または、修理する場合。
 - 刃物、トイシ、ビットなどの付属品を交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。

警告

- ①⑥ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。
- 電源を入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。
- ①⑦ 不意な始動は避けてください。
- 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
 - 電源プラグをコンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- ①⑧ 屋外使用に合った延長（継ぎ）コードを使用してください。
- 屋外で延長（継ぎ）コードを使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルを使用してください。
- ①⑨ 油断しないで十分注意して作業を行なってください。
- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - 常識を働かせてください。
 - 疲れているときは、使用しないでください。
- ②⑩ 損傷した部品がないか点検してください。
- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
 - 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、修理をお買い求めの販売店、または日立工機電動工具センターに依頼してください。
 - スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
 - スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。
- ②⑪ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
- この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因になる恐れがあるので、使用しないでください。
- ②⑫ 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。
- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - 修理は、必ずお買い求めの販売店、または日立工機電動工具センターにお申し付けください。ご自身で修理すると、事故やけがの原因になります。

二重絶縁について

電気の流れる所と本体との間が、異なる二つの絶縁物で絶縁されていることを言います。たとえ一つの絶縁物がこわれても、もう一つの絶縁物で保護されていて感電しにくくなっています。

お求めの丸のこは二重絶縁をしてあり、銘板に二重絶縁を表す  マークで表示してあります。異なった部品と交換したり、間違って組立てたりすると二重絶縁構造でなくなります。

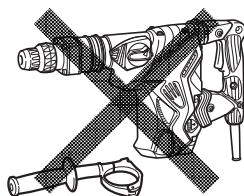
電気系統の分解、組立や部品の交換はお買い求めの販売店、または日立工機電動工具センターにご用命ください。

ハンマドリルの使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、ハンマドリルとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

警告

- ① 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - 表示を超える電圧で使用すると、速度が異常に速くなり、けがの原因になります。
- ② 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
 - 埋設物があると工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
- ③ 使用中は、振り回されないようにサイドハンドルを付け、機体を両手で確実に保持してください。
 - 確実に保持していないと、けがの原因になります。
- ④ 使用中は、工具類に手や顔などを近づけないでください。
 - けがの原因になります。
- ⑤ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに点検・修理を依頼してください。
 - そのまま使用していると、けがの原因になります。
- ⑥ 誤って落としたり、ぶつけたときは、工具類や機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- ⑦ シリカや石綿は人体に有害です。このような成分を含んだ材料を加工するときは、防じん対策をしてください。



⚠ 注意

- ① 工具類や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。

- 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。

- ② 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。

- 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。

- ③ 作業中は、ヘルメット、安全靴を着用してください。

- ④ 作業直後の工具類は高温になっているので、触れないでください。

- やけどの原因になります。

- ⑤ 高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。また、コードを引っかけたりしないでください。

- 材料や機体などを落としたとき、事故の原因になります。

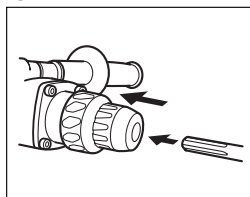
- ⑥ 運転させたまま、台や床などに放置しないでください。

- けがの原因になります。

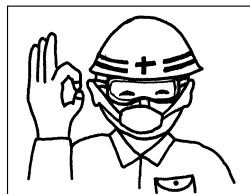
- ⑦ 作業の際、機体を無理に押し付けしないでください。

- 先端工具を傷めて作業効率が低下するだけでなく、機体の寿命低下につながります。

①



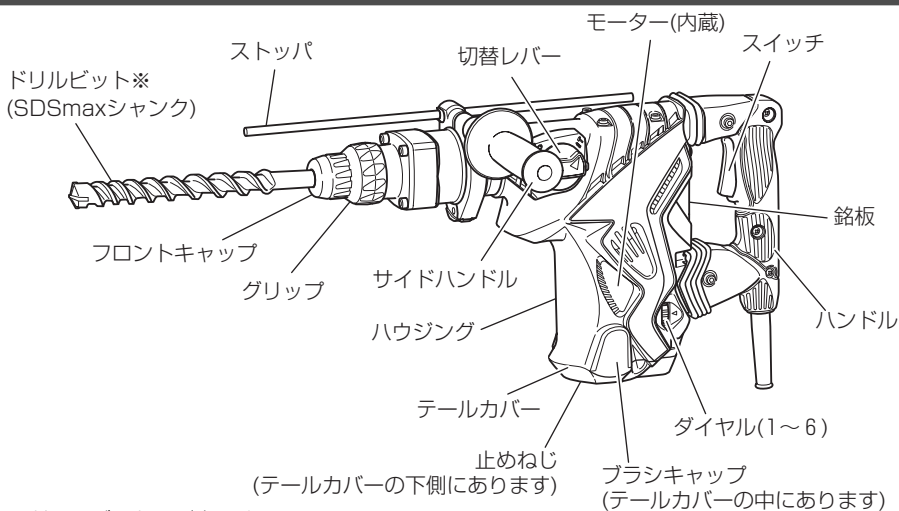
③



○ 騒音防止規制について

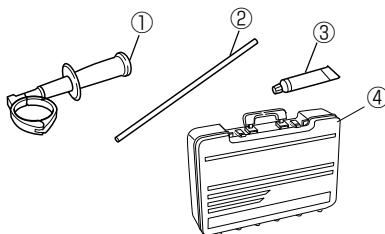
騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

各部の名称



標準付属品

- ① サイドハンドル …………… 1 個
- ② ストップ …………… 1 個
- ③ ハンマグリース A …………… 1 個
- ④ プラスチックケース …………… 1 個



仕 様

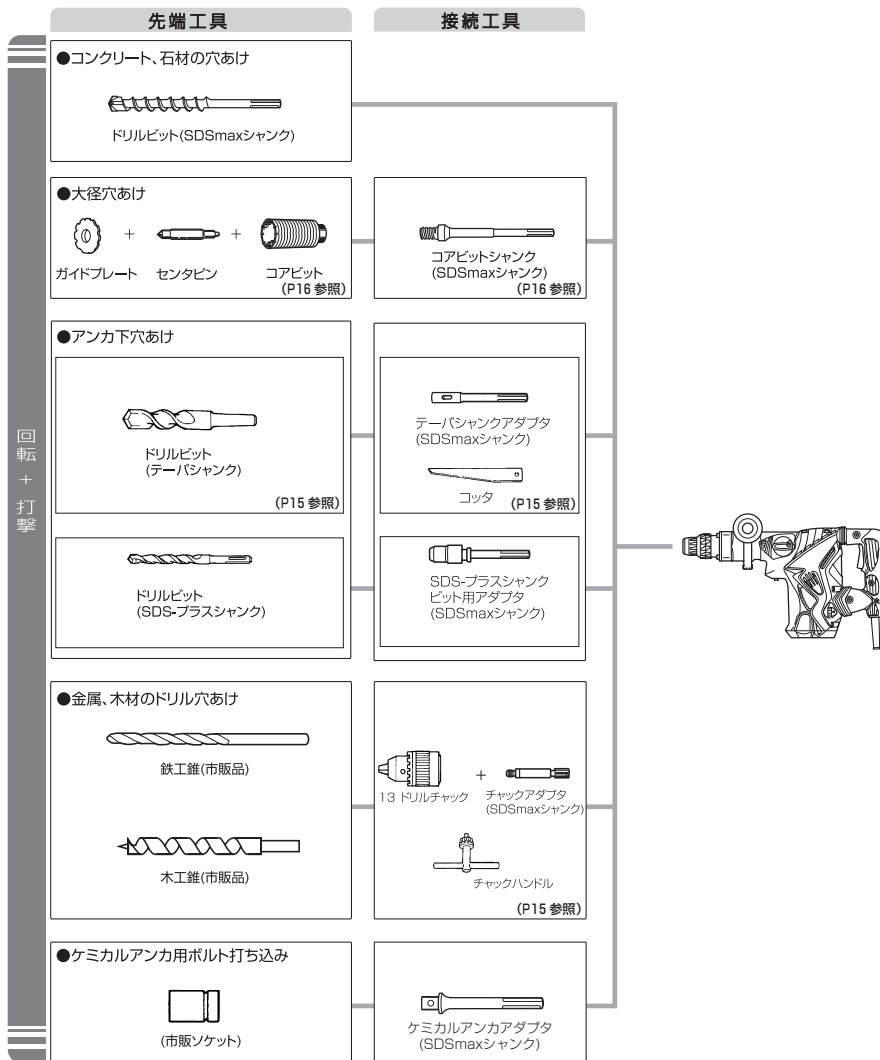
使 用 電 源	単相交流 50 / 60Hz 共用	電 圧	100 V
穴 あ け 能 力	ドリルビット 40 mm、コアビット 105 mm		
全 負 荷 電 流	11.5 A		
消 費 電 力	1100 W		
無負荷回転数	240 ~ 480 min ⁻¹ { 240 ~ 480 回 / 分 }		
全負荷打撃数	1320 ~ 2650 min ⁻¹ { 1320 ~ 2650 回 / 分 }		
モ ー タ ー	単相直巻整流子モーター		
質 量	6.8 kg (コード、サイドハンドルを除く)		
コ ー ド	2 心キャブタイヤケーブル 5 m		

別売部品 (別売部品は生産を打ち切場合がありますので、ご了承ください。)

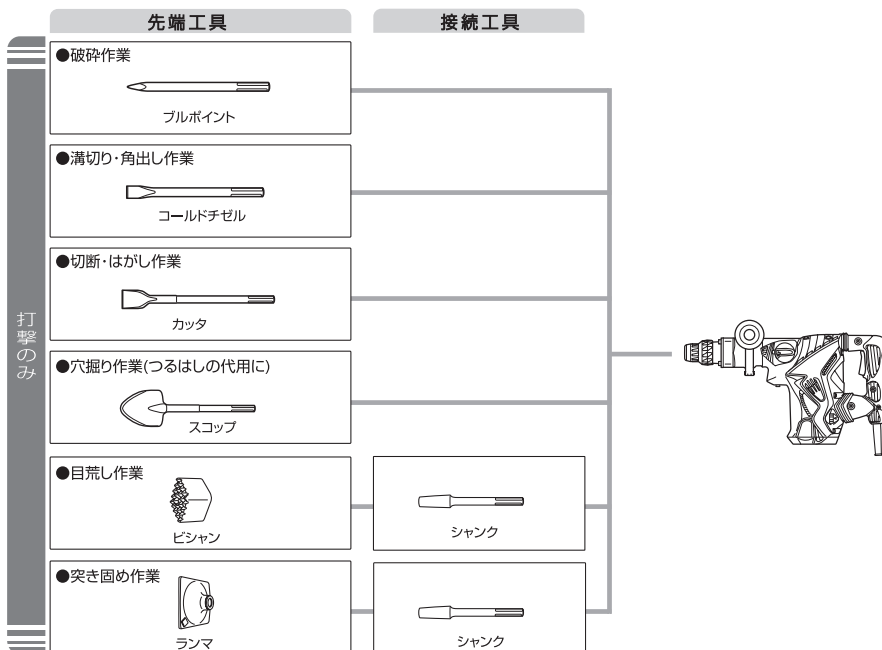
用途に応じたアタッチメントをご使用いただくことで、いろいろな作業にご利用できます。

各部寸法等につきましては、お買い求めの販売店または日立工機の全国営業拠点(裏表紙参照)にお問い合わせください。

● "回転 + 打撃" モードで使用



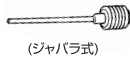
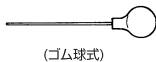
● "打撃" モードで使用



はじめに

● その他

● スポイト(穴あけ後の切り粉除去用)



● 電動工具用集じん機

この製品は電工工具用集じん機に接続して使用できますので、お買い求めの販売店にご相談ください。

ご使用前の点検

●漏電しゃ断器の設置をおすすめします

本製品は二重絶縁構造ですので、法律により漏電しゃ断器の設置は免除されていますが、万一の感電防止のため、漏電しゃ断器が設置されている電源に接続することをおすすめします。

●延長（継ぎ）コードを使う場合

警告

延長（継ぎ）コードは損傷のないものを用意してください。

電気が流れるのに十分な太さのできるだけ短いコードをご使用ください。

右表は使用できるコードの太さ（導体公称断面積）と、最大の長さです。

コードの太さ (mm ²)	最大の長さ (m)
1.25	10
2	15
3.5	30

●使用電源の確認

必ず銘板に表示してある電源でご使用ください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転数が異常に高速になり、機体が破壊する恐れがあります。

また、直流電源、エンジン発電機、昇圧器などのトランス類で使わないでください。製品の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。

●コンセントの確認

電源プラグをさし込んだとき、コンセントがガタガタだったり、電源プラグがすぐ抜けるようでしたら修理が必要です。

お近くの電気工事店などにご相談ください。そのままお使いになりますと、過熱して事故の原因になります。

工具の取付け・取りはずし

⚠ 警告

工具の取付けや取りはずしの際、万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠ 注意

工具は当社指定の別売部品を使用してください。
(P7、8「別売部品」参照)

この機体の工具取付け部はSDSmaxシャンク品専用となっております。従いまして、SDSmaxシャンクの先端工具または各種アダプタを使用してください。

1 工具のシャンク部をきれいに拭き、グリースまたは機械油を塗布します。

2 工具をフロントキャップの穴にさし込み奥まで突き当てます。

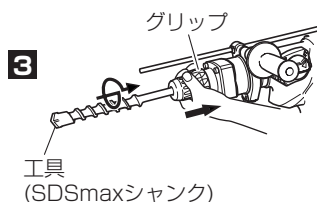
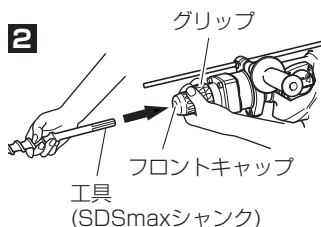
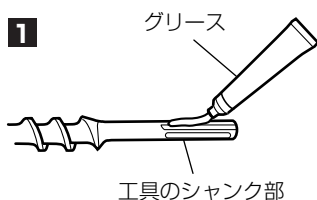
3 工具を軽く押しながら回していくと、ひっかかりのある箇所が確認できます。

その箇所、グリップを矢印方向へ一杯に引き、奥に突き当たるまで工具をさし込みます。

4 グリップを離すとグリップが戻り、工具を固定します。

5 確実に工具が固定されたか、工具を引いて確認します。

6 工具を取りはずすときは、グリップを矢印方向へ一杯に引き、工具を引き抜きます。



はじめに

使い方

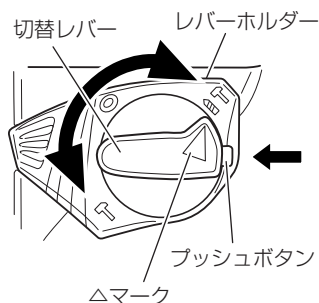
作業モードの設定

⚠ 注意

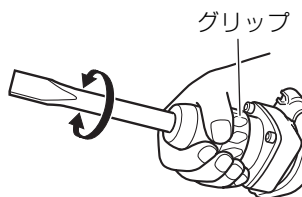
- モーター停止時に切替レバーを操作してください。
モーターの回転中に切替えると、不意に工具が回り、思わぬ事故の原因になります。
- ハツリ・破碎用工具などは必ず "打撃" の位置で使用してください。
"回転+打撃" の位置で使用すると、工具が回り、思わぬ事故の原因になります。

- 作業モードの設定は、プッシュボタンを押しながら、切替レバーを回して△マークをレバーホルダーの各マーク位置に合わせます。

- ⚡ ↑ マーク — "回転+打撃" モード
- ◎ マーク — 工具の位置決め
- ↑ マーク — "打撃" モード



- コールドチゼルやスコップなどの工具先端の向きを決めるときは △マークを◎マークに合わせて、プッシュボタンをはなし、グリップを回して工具先端の向きを決めます。
次に、プッシュボタンを再び押して、↑マーク("打撃"モード)に△マークを合わせて、プッシュボタンをはなします。



注 確実にロックされているか、プッシュボタンを押さないで切替レバーが回らないことを確認してください。

回転数・打撃数の調整

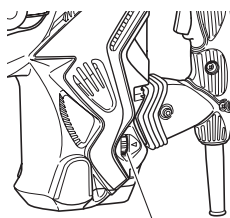
回転数・打撃数を無段階に調整する電子制御回路を内蔵しています。もろい材料への穴あけ、ハツリ作業また芯出し作業など作業内容によりダイヤル目盛を調整してご使用ください。

⚠ 注意

作業中はダイヤルの調整をしないでください。

機体が片手保持となり、振り回されたりして、けがの原因になります。

ダイヤル目盛	(回転数/分)	(打撃数/分)
6	480	2650
5	↑	↑
4		
3		
2		
1	240	1320



ダイヤル(1～6)

スリップクラッチ機構について

この機構は、作業中の本体に急激に大きな負荷がかかったとき、モーターとビットの間の伝達部をスリップさせて、直接大きな反力がかかることを防止します。

注 スリップクラッチが作動し、ビットの回転が停止した場合には、すみやかにスイッチを切ってください。

穴をあける

"回転 + 打撃" モードで
コンクリート、アンカ下穴の穴あけ作業

⚠ 警告

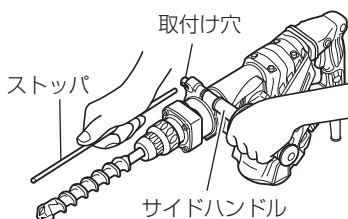
工具・ストッパの取付けや取りはずしの際、万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

1 工具を取付けます

- P10の「工具の取付け・取りはずし」の手順に従い工具を取付けます。

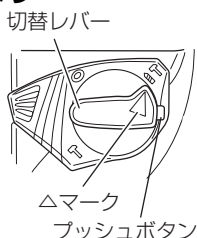
2 必要に応じてストッパを取付けます

- ①サイドハンドルをゆるめ、取付け穴にストッパを通します。
- ②所定の穴深さになったときストッパが材料に突き当たる位置に移動させ、サイドハンドルを時計方向に回して固定します。



3 作業モードを"回転+打撃"に切替えます

- プッシュボタンを押しながら切替レバーを $\uparrow$ に合わせます。
(P11の「作業モードの設定」参照)



4 電源プラグをコンセントにさし込みます

⚠ 警告

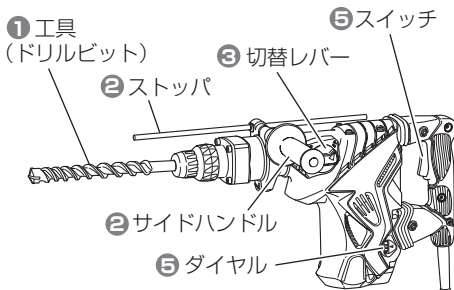
サイドハンドルとハンドルをしっかり握って作業してください。
工具が鉄筋などに当たると急に止まり、その反動で機体が回ろうとします。

⚠ 注意

- 作業の際、機体を無理に押し付けしないでください。
先端工具を傷めて作業効率が低下するだけでなく、機体の寿命低下につながります。
- 作業中はダイヤルの調整をしないでください。
機体が片手保持となり、振り回されたりして、けがの原因になります。

5 スイッチを入れます

- 作業に応じて回転数・打撃数をダイヤルで調整してください。
- 穴あけ位置に工具の先を当ててからスイッチを入れます。
(P12の「回転数・打撃数の調整」参照)



ハツリ・破碎する

" 打撃 " モードでコンクリートの
ハツリ・破碎・溝掘り・角出し・切断・はがし作業

⚠ 警告

工具の取付けや取りはずしの際、万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

1

工具を取付けます

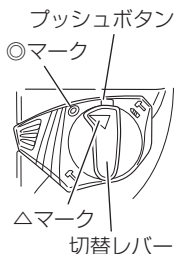
- P10の「工具の取付け・取りはずし」の手順に従い工具を取付けます。

2

工具の向きを決めます

- コールドチゼル、カッタ、スコップを使用するときは、プッシュボタンを押しながら切替レバーを○に合わせ、工具先端の向きを決めます。

(P11の「作業モードの設定」参照)



⚠ 注意

ハツリ・破碎用工具などは必ず"打撃"の位置で使用してください。

" 回転 + 打撃 " の位置で使用すると、工具が回り、思わぬ事故の原因になります。

3

作業モードを"打撃"に切替えます

- プッシュボタンを押しながら切替レバーを↑に合わせます。

(P11の「作業モードの設定」参照)



⚠ 注意

- 作業の際、機体を無理に押し付けしないでください。

反動を押さえる程度に押しつけて作業してください。無理に突きさしたり、押さえつけても作業の効率はあがりません。

床面のハツリ・破碎の際には、機体の自重を利用し、反動を押さえる程度に押しつけて作業してください。

- 作業中はダイヤルの調整をしないでください。

機体が片手保持となり、振り回されたりして、けがの原因になります。

4

電源プラグをコンセントにさし込みます

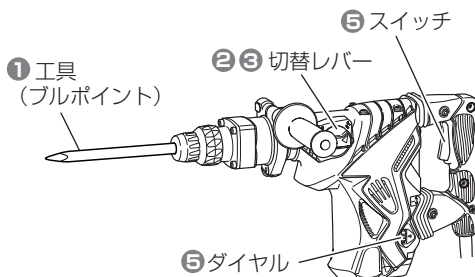
5

スイッチを入れます

- 作業に応じて、回転数・打撃数をダイヤルで調整してください。

- ハツリ・破碎する位置に工具先端を当ててからスイッチを入れます。

(P12の「回転数・打撃数の調整」参照)



使
い
方

ドリルチャックの使い方

別売部品のドリルチャック、チャックアダプタを取付けますとドリルとしてご使用になれます。切替レバーを"回転+打撃"の位置にして使用してください。

1

ドリルチャックにチャックアダプタを取付ける



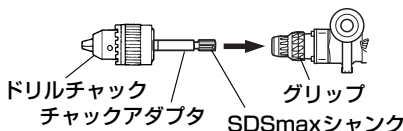
⚠ 注意

穴の抜けぎわに錐を折ることがありますので、穴の抜けぎわに機体を材料に押しつける力をゆるめてください。

2

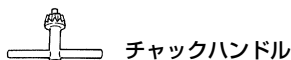
機体にチャックアダプタを取付ける

- P10の「工具の取付け・取りはずし」の手順に従い工具を取付けます。



3

市販の錐をチャックハンドルを使ってドリルチャックに取付ける



4

以下P13の㊦からの手順に従い作業してください

テーパシャंकアダプタの使い方

別売部品のテーパシャंकアダプタを取付けますとテーパシャंकタイプのドリルビットをご使用になれます。

1

テーパシャंकアダプタを機体に取り付ける

- P10の「工具の取付け・取りはずし」と同じ要領で取付けます。



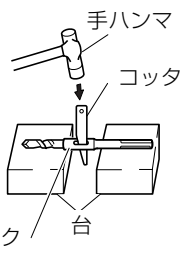
3

以下P13の㊦からの手順に従い作業してください

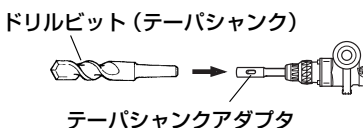
4

ドリルビットをテーパシャंकアダプタから取りはずす

- テーパシャंकアダプタの長穴部分にコッタを入れ、コッタの頭を手ハンマでたたいてはずします。



2 ドリルビットをテーパシャंकアダプタに差しこむ



コアビットの使い方

コアビット、センタピン、コアビットシャンクなどのコアビット用別売部品をご使用になりますと、大口徑の貫通穴、止まり穴をあけることができます。

⚠ 注意

コアビットシャンク、ガイドプレート、センタピンの取付け、取りはずしの際、万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

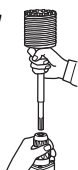
1 コアビットシャンクに コアビットを取付ける

- 丸ねじ部に油を塗っておくと、分解するときにくるみやすくなります。



2 コアビットシャンク を機体に取り付ける

- P10の「工具の取付け・取はずし」と同じ要領で取付けます。



3 ガイドプレート、センタピン をコアビットにさし込む

- ①ガイドプレートにセンタピンを奥までさし込みます。
- ②ガイドプレートの凹部をコアビットチップに合わせてはめ込み左・右どちらかに回します。



4 作業モードを"回転+打撃" に切替える

(P11の「作業モードの設定」参照)

5 電源プラグをコンセント にさし込む

6 スイッチを入れる

- 作業に応じて、回転数・打撃数をダイヤルで調整してください。
- あけたい穴の中心にセンタピンを合わせ、穴あけを開始します。



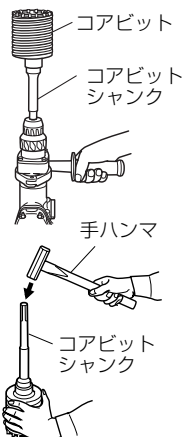
(P12の「回転数・打撃数の調整」参照)

7 位置決め完成

- 約5mm穿孔すると位置決め溝が完成します。コアビットからセンタピン、ガイドプレートを取りはずして、完成した位置決め溝に合わせて穴あけをすすめます。

8 コアビットを取りはずす

- ①作業モードを"打撃"にし、コアビットシャンクを機体に挿入したまま上向きにして2～3回無負荷運転で打撃します。
- ②機体からコアビットシャンクをはずしてコアビットを手で持ち、コアビットシャンクの頭を手ハンマで2～3回強打すると、丸ねじがゆるみ、取りはずすことができます。



使いこなし

保守・点検

⚠ 警告

点検・お手入れの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

●グリースの交換

この機体はグリース密封構造となっていますので、ほこりの侵入を防ぎ、グリースは漏れない構造となっています。従って、長期間無給油で使用できます。しかし、機体を長持ちさせるために6ヶ月ごとにグリースの交換をしてください。

注 機体へ使用しているグリースは特殊グリースです。他のグリースを使用した場合、性能を著しく損なう恐れがありますので、必ずグリースの交換はお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにお申しつけください。

●工具の点検

作摩耗した工具をご使用になっておりますとモーターに無理をかけることになり、また効率も落ちますから早めに研磨するか新品と交換してください。

●取付けねじの点検

時々点検して、ゆるんでいたら、締め直してください。
そのまま使用すると危険です。

●モータ部の取扱について

モーター部の巻線は機体の重要な部分です。巻線に傷、洗油および水をつけないよう十分注意してください。

注 ゴミやほこりを排出するため、使用後は、モーターを無負荷運転させて、湿気のない空気をテールカバーの風穴から吹き込んでください。
モーター内部にゴミやほこりがたまると、故障の原因になります。

●製品や付属品の保管

使用しない製品や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。

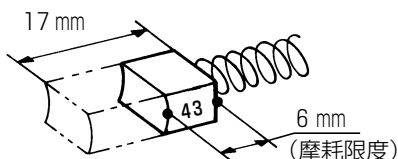
- 注**
- ・お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所には保管しない。
 - ・軒先など雨がかかったり、湿気のある場所には保管しない。
 - ・温度が急変する場所、直射日光の当たる場所には保管しない。
 - ・引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所には保管しない。

●カーボンブラシの点検

モーター部には、消耗品であるカーボンブラシを使用しております。カーボンブラシの摩耗が大きくなりますと、モーターの故障の原因となりますので、長さが摩耗限度（6 mmぐらい）になりましたら新品と交換してください。

また、カーボンブラシはごみなどを取り除いてきれいにし、ブラシホルダ内で自由にすべるようにしてください。

注 新品のカーボンブラシと交換の際は、必ず図示の番号（43）の日立カーボンブラシを使用してください。

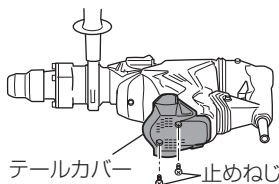


●カーボンブラシの交換方法

1

テールカバーをはずします

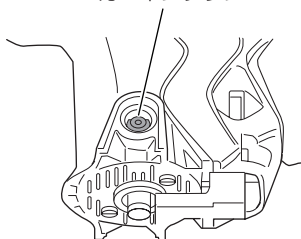
- 止めねじをゆるめ、テールカバーをはずします。



3

カーボンブラシを取り出します

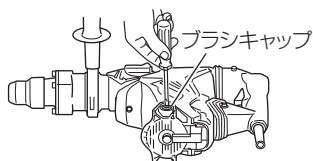
カーボンブラシ



2

ブラシキャップをはずします

- マイナスドライバーなどで反時計方向に回してはずします。



4

新しいカーボンブラシを取付けます

- ① ブラシホルダの角穴に合わせてカーボンブラシを指で押し込みます。
- ② ブラシキャップをしっかりと締め、テールカバーを2本の止めねじでしっかりと取付けます。

ご修理のときは

この製品は、厳密な精度で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合は、決してご自身で修理をなさらないで買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにご依頼ください。

ご不明のときは、下記の全国営業拠点にご相談ください。その他、部品ご入用の場合や取扱い上でお困りの点がありましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(NO.)などを下欄にメモしておかれますと、修理を依頼される時便利です。

お買い上げ日	年 月 日	製造番号(NO.)
販売店 (TEL)		

全国営業拠点

■ 日立工機電動工具センターへのご用命は、下記の営業拠点にお問い合わせください。

北海道支店 TEL(011) 271-4751(代) 〒060-0003 札幌市中央区北三条西4丁目(日生ビル)
東北支店 TEL(022) 288-8676(代) 〒984-0002 仙台市若林区卸町東3丁目3番36号
東京支店 TEL(03) 5812-6331(代) 〒110-0016 台東区台東4丁目11番4号(三井住友銀行御徒町ビル)
中部支店 TEL(052) 262-3811(代) 〒460-0008 名古屋市中区栄3丁目7番13号(コスモ栄ビル)
北陸支店 TEL(076) 263-4311(代) 〒920-0058 金沢市示野中町1丁目163番
関西支店 TEL(06) 4796-8451(代) 〒530-0001 大阪市北区梅田2丁目6番20号(スノークリスタル)
中国支店 TEL(082) 228-0537(代) 〒730-0011 広島市中区基町11番13号(第一生命ビル)
四国支店 TEL(087) 841-6191(代) 〒761-0113 高松市屋島西町1981
九州支店 TEL(092) 621-5772(代) 〒813-0062 福岡市東区松島4丁目8番5号

「電動工具お客様相談センター」 ☎ 0120-208822 (フリーダイヤル・無料)
※携帯電話からはご利用になれません。 (土・日・祝日を除く 午前9:00～午後5:00)
電動工具ホームページ—<http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/>



〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号(品川インターシティA棟)
国内営業本部 TEL (03) 5783-0626(代)